



# 美野里ハイタウン通信 13

2004年1月29日



先週末はたくさんのお引越しがありました。荷物の運び出しや片付けの最中で忙しい時に、お話を聞かせてくださったみなさん、ありがとうございました。(引越して行かれた方にお届けできず残念です...) ポ

小学校が1クラス増え、新しく和名ヶ谷中ができた。

昭和52年(1977)3月に入居した家の子どもたちは、4月の新学期から学校に通えました。でも遅いほうの第2次入居で越してきた子どもたちは2学期から。小学校では年度の途中で異例のクラス再編があり、3クラスが4クラスになって、担任の先生も替わりました。小学3年生で入居した子が、中学に上がった時、一中に通っていましたが中2の時に和名ヶ谷中学校が新設され、そちらに移動しました。和中には五中の一部も合流しました。(4号棟 木原さんのお話)

**子どもたちの美野里ハイタウン**

- 学校から帰ってきたら、ハイタウンの中で遊ぶ。遊ぶ場所がたくさんあったから、野菊野の友だちも来ていた。
- お兄さん、お姉さん、小さい子たち。小学生の年上の子が幼稚園やもっと小さい子たちとよく遊んでくれた。家事で忙しい時、ベランダ前の芝生で遊んでいる子たちに「ちょっとお願い」と子どもを預けて見てもらったりもした。
- 土手すべり、基地ごっこ、虫とり。ポレットに一輪車の練習用の木製デッキがあった。
- 紙芝居のおじさん。陣ヶ前公園の向かいの広場に来ていた。
- パンジーのパン。5人家族で1人が2~3個ずつ買っても¥1000-くらい。「美野里の子はパンジーのパンで育った」
- 文具のみどり。お誕生会のプレゼントを買いに行った。(美野里生まれの元子どもたちとそのお母さんたちのお話より)

学校を作ってしまうほどたくさんいた子どもたちは、どんな生活をしていたのでしょうか